

新型コロナウイルス感染症患者の発生について

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部によると、本日、宮古島市において新たに15人の感染者が確認されました。宮古島市における感染者は、これで合計20人となります。

今回、感染が確認された患者の中には、先に3人の感染が確認された市内の接客を伴う飲食店「ラウンジ美月」の関係者も含まれており、「ラウンジ美月」では5人以上の感染が確認される、いわゆるクラスターが発生しているものと考えられます。引き続き県の方で当該飲食店の協力を得ながら感染者の行動歴や濃厚接触者の調査等が行われています。

また、本日新たに確認された感染者のうち宮古島市在住者は7人で6人は東京、埼玉、大阪など県外からの渡航者となっています。2名については居住地不明となっています。

今回、クラスターを含む15人の感染者が確認されたことから、感染が疑われる濃厚接触者の数も増えることが予想され、不安に思う市民も多いと思われます。

そのため宮古島市としては、6日(木)から役所内に新型コロナウイルス感染症に関する電話相談室を設置し、宮古保健所と連携しながら市民の問い合わせ・相談に応えることにしています。

今回、宮古島市においては、10人を超える感染者が確認されるという事態になりましたが、市民の皆様においては、可能な限り外出を控え、島外への渡航についても必要最小限にとどめ、マスクの着用や手指消毒、3密の回避など感染防止策を徹底して頂きますようお願いいたします。

いま、宮古島市では新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報が溢れていますが、これらの情報に過敏に反応すること無く、冷静に、落ち着いて対応し、家族や自分自身で出来る感染防止策を徹底してください。

観光客の皆様にも、県外からの渡航については慎重に判断して頂くとともに、来島される場合も、マスクの着用や手指消毒等感染防止のためのルール

を厳守して頂きますよう御願いたします。

新たに感染が確認された15人については、現在、宮古病院等へ入院、あるいは入院を調整中ということですが、沖縄県においては、現在宮古島市内においても、軽症感染者のためのホテル等宿泊施設についても準備を進めているということです。

市民のみなさまには、冷静に落ち着いて行動し、感染が心配な場合は、沖縄県のコールセンターや今後設置される宮古島の電話相談室に問い合わせを頂きますよう御願いたします。

新型コロナウイルス感染症対策に関する市の対応について

宮古病院（以下、「病院」という。）、宮古保健所（以下、「保健所」という。）、宮古地区医師会（以下、「医師会」という。）及び宮古島市（以下、「市」という。）は、令和2年8月3日に今後の新型コロナウイルス対策について、下記の項目について協議を行い、協力して対応する事を確認した。

1. 濃厚接触者については、保健所と病院で検査等の対応を行う。
2. 感染者と接触があったと思われる者、及び日常業務で不特定多数の人と接触がある者で感染の疑いがある者の検査について
 - (1) 現段階では、PCR検査センターは設置せず、検査キットを提供する等開業医で行っている検査の支援を行う。
 - (2) 感染者が増え、現在の体制では対応することが出来ない状況になったときは、医師会等と協議し検体採取センターの設置を検討する。
 - (3) この場合、検査の場所、日時、方法、医師の配置、検査補助員等については、医師会と市で協議し決定する。決定した場合、具体的な検査日時、場所等については、マスコミ等を通じて市民への呼びかけを行う。
3. 新たなPCR検査機器の導入について
 - (1) 病院に新たにPCR検査機器を導入し、検査のスピードアップを図る。
 - (2) PCR検査機器の費用は、医師会及び市で負担し、負担の割合は、今後双方で協議し決定する。
4. その他について

- (1) 検査に使用する検査キットの購入費は、市が負担する。
- (2) 検査キットの調達は医師会が行う。
- (3) 検体採取センターの設置に関する費用や、センターを利用しての検査費用については、保険適用以外の部分については、市で負担する。